

香川県・東京藝術大学連携事業 瀬戸内海分校プロジェクト インスタレーション・映像分野 銚井喬ワークショップ 〈風や海と共に道具を考え、描いてみよう〉

見えない風や自然の存在をテーマにしている作家と共に自然に囲まれた海岸で、暮らしの道具をヒントに風や自然との対話を通して絵を描いたり、立体作品を制作します。その後、制作した作品の会場搬入・設営を行い、作品制作から展示作業までの流れを体験します。どのような作品にするかなど、詳しい内容は、リサーチ・企画編を通して一緒に考え、創り上げていきましょう！



2022年度 活動の様子

【ワークショップ内容】 インスタレーション・映像

14日・15日は、リサーチ・企画編をもとに、アーティストとともに海岸でワークショップを行います。自然に囲まれた環境で自然の息吹を体感しながら、作品の制作を行います。
22日は瀬戸内海歴史民俗資料館で、作品の搬入・設営作業を行います。

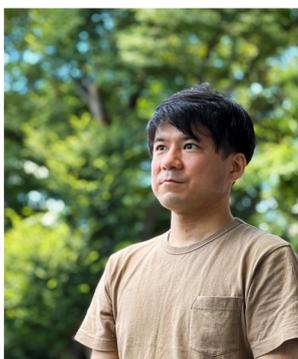
日時：(1)作品制作 10月14日（土）、15日（日）
高松港 8：30集合、高松港18：00解散（雨天中止）
(2)搬入設営 10月22日（日）
9：00～17：00

場所：(1)豊島（神子ヶ浜海岸）、集合解散は高松港
(2)瀬戸内海歴史民俗資料館
※22日の瀬戸内海歴史民俗資料館は、現地集合・解散となります。難しい場合はご連絡ください。

対象：中学生・高校生

持ち物：動きやすく汚れても良い服装（肌の露出・サンダル不可）、昼食、水筒
※屋外での活動のため、タオル等も持参ください。

※プロジェクト終了後、「香川県・東京藝術大学瀬戸内海分校プロジェクト」の公式記録に、活動の様子がお名前とともに掲載されます。



作家プロフィール

銚井 喬

東京藝術大学デザイン科非常勤講師

2022年度さとらみ展 DUAL NATURE



1984年神奈川県生まれ。2010年東京藝術大学大学院美術研究科修了。2016年から同大学デザイン科立体工房非常勤講師。

学生時代に人力飛行機のパイロットとして空を飛び、わずかな風に翻弄された経験から風を可視化する作品を作り始める。その後、カメラマンとしてNHKに就職し、東日本大震災では仙台平野を襲う津波をヘリから空撮中継。福島と東京の2拠点生活の傍ら、地方芸術祭で滞在制作を行い、リサーチベースの基、自然とエネルギーの関係性をテーマに制作をしている。

2020年Vermont Studio Center Artist in Residence (USA)、SIM Artist in Residence Program (Iceland)、2021年野村財団芸術文化助成、中之条ビエンナーレ2023（群馬県）など。